

冬期講習会中には、毎日小学生は20分、中学生は40分、高校生は60分以上新聞を読み、自分で考える力と批判的思考能力を身につけるよう指導し続けよう!!

開倫塾
塾長 林 明夫

冬期講習中もNIEを!!

- ① 新聞はインターネットで読めばよい、収入が減しケータイ料金が増えたので家では新聞は購読しない。このような考えで新聞を読まない保護者が激増し、その結果、小学生、中学生、高校生、大学生、大学院生、専門学校生が大量に発生しています。
- ② 過日、高校1年生の2クラスで授業をした際、足利事件について知っているかを聞いたところ、誰一人として知る人がいないことに私は驚きました。新聞を読んでいる人が2クラスで一人もいないことを知り、更に私は驚きました。
- ③ 学校では、新聞を読むように指導すると、家で新聞を購読していない場合が多いので、「差別」になるから、気の毒だから新聞を読むようにとの指導はしないことが多いようです。学校の先生自身が新聞を家で取らず、インターネットでしか新聞を読まない人が多いため、自分の児童・生徒・学生に新聞を読むことを指導することができない人が激増しています。
- ④ 開倫塾は学校で不足している教育を補うこと、それも徹底的に補うことを教育の内容としています。それが開倫塾の独自能力でもあり、社会的使命でもあります。新聞についても、学校で読むことを指導していないのなら、開倫塾で徹底的に指導することが、塾生の自ら考える力、批判的思考能力を身につけさせることに役立つものと確信する次第です。
- ⑤ 年末・年始は、各紙が総力を挙げ、その1年を振り返り、新しい年を展望する特集を組みます。冬期講習期間中と正月特訓期間中は全塾生は新聞を一面からなめるように一語一句丁寧に読むよう指導して下さい。
受験生は、特に新聞を丁寧に読むよう指導をお願いします。新聞を読むことで大量の文章を正確に自分の力で読み、理解する能力が確実に身につきますので1月初旬からの入試にも極めて役立つからです。
- ⑥ 家で新聞を取っていない人は、コンビニで冬休みの間だけでも新聞を購入することも奨励して下さい。図書館の活用も大切です。図書館に行き、新聞を読むことも大いに奨励して下さい。近所に新聞をとっている親戚や知り合いがいたら、上がり込んででも新聞を毎日読ませて頂くよう御指導下さい。

7 開倫塾の全校長・全講師は前日までの新聞で O.K.ですから、家でお読みになり不要になった新聞を校舎に毎日お持ちになり、塾生に読ませてあげて下さいますようお願い申し上げます。新聞は、その日のものだけでなく、古いものでも読めば必ず役に立つことも御指導下さい。

8 新聞は社会の watch dog(ワッチ・ドック、番犬)であることも指導して下さい。社会の問題点にガブツとかみつき厳しく指摘することが社会の進歩・発展に繋がります。批判のないところに切磋琢磨はなく、切磋琢磨のないところに発展はありません。新聞は社会の公器といわれるのはこのためです。

9 新聞に書いてあることがすべて正しいかと言われれば、必ずしもそうではない。1つの角度から見たときに正しいものごとの見方の一つを新聞は示しているに過ぎない。新聞自身が、その新聞社の意見表明に過ぎないので新聞は一紙だけでなく、複数を比較しながら読み続けることも大切な能力といえます。

このように意味で、図書館に週に1日以上は行き、数種類の新聞を読み比べることは大切な能力です。

10 「批判的思考能力」とは何か。世界のあちこち、日本各地、目の前で発生していることの本当の意味は何であるかを自分の力で判断し、その判断に基づいて自分自身の行動を自己責任で決定する能力と言えます。

11 親族と名乗る人からの TEL が振り込め詐欺か否かを判断するのも、無実なのに逮捕され、起訴され、裁判にかけられたときに「私はやりました」と言うことがどのような結果をもたらすかを判断するのも、批判的思考能力です。

12 自分の身は自分で守る。自分の地域や日本の将来、アジアや世界の未来も自分たちで守る。そのために求められるのが「批判的思考能力」です。

13 新聞は社会の watch dog(番犬)。新聞を毎日小学生は20分、中学生は40分、高校生は60分以上読むことで塾生の自分で考える力、「批判的思考能力(CRITICAL THINKING)」を身につける指導を是非行って下さいますようお願いいたします。

14 英検2級合格したら、英字新聞を毎日読み続けるよう御指導下さい。よくわかった内容だけでよいから、英字新聞を読むことが第一です。よろしくようお願い申し上げます。

感謝